

### 3 アンケート結果の考察と課題

\*グラフの見方(下から) A+B 肯定的評価、 C+D 否定的評価、 評価E わからない

<p>1 D・カテゴリーと質問内容 学校全体の集計グラフ</p> <p><b>1 学校</b> 学校に行くのが楽しいかどうか。</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>学校に行くのが楽しいかどうか (学校全体の集計)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>今年 (A+B)</th> <th>今年 (C+D)</th> <th>今年 (評価E)</th> <th>昨年 (A+B)</th> <th>昨年 (C+D)</th> <th>昨年 (評価E)</th> <th>過去の平均 (A+B)</th> <th>過去の平均 (C+D)</th> <th>過去の平均 (評価E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>70.7</td> <td>18.1</td> <td>11.2</td> <td>74.2</td> <td>17.7</td> <td>8.1</td> <td>78.8</td> <td>17.3</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>86.2</td> <td>13.8</td> <td>0.0</td> <td>85.3</td> <td>10.3</td> <td>4.4</td> <td>84.1</td> <td>10.4</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>91.1</td> <td>8.0</td> <td>1.0</td> <td>89.3</td> <td>8.0</td> <td>2.7</td> <td>91.1</td> <td>8.8</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (評価E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (評価E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (評価E)	教職員	70.7	18.1	11.2	74.2	17.7	8.1	78.8	17.3	5.9	生徒	86.2	13.8	0.0	85.3	10.3	4.4	84.1	10.4	5.5	保護者	91.1	8.0	1.0	89.3	8.0	2.7	91.1	8.8	0.1	<p>今回、過去のデータ等と比較した分析結果</p> <p>【全校】生徒の肯定的評価が昨年から4%増え、過去の平均とはほぼ同じ水準、否定的評価が昨年、過去の平均からそれぞれ5%、4%減りました。保護者の肯定的評価は昨年、過去の平均からそれぞれ11%、12%増え、否定的評価は昨年、過去の平均からともに7%減りました。</p> <p>【学部ごと】昨年と比べて、生徒の肯定的評価は小学部は5%減、中学部は昨年と同じ100%、高等部は10%増えて91%、専修部は4%増えました。保護者の肯定的評価は幼小学部、中学部で100%、高等部は12%増の91%、専修部は17%増の95%になりました。</p>
対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (評価E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (評価E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (評価E)																																
教職員	70.7	18.1	11.2	74.2	17.7	8.1	78.8	17.3	5.9																																
生徒	86.2	13.8	0.0	85.3	10.3	4.4	84.1	10.4	5.5																																
保護者	91.1	8.0	1.0	89.3	8.0	2.7	91.1	8.8	0.1																																

【課題・反省等】今後とも学校全体として楽しく学べる環境を整えたいと思います。

<p><b>2 保護者との連携</b> 学校による情報の周知徹底</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>学校による情報の周知徹底 (学校全体の集計)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>今年 (A+B)</th> <th>今年 (C+D)</th> <th>今年 (評価E)</th> <th>昨年 (A+B)</th> <th>昨年 (C+D)</th> <th>昨年 (評価E)</th> <th>過去の平均 (A+B)</th> <th>過去の平均 (C+D)</th> <th>過去の平均 (評価E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>75.3</td> <td>15.2</td> <td>9.5</td> <td>83.3</td> <td>13.9</td> <td>3.8</td> <td>85.5</td> <td>8.0</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>89.4</td> <td>5.8</td> <td>5.8</td> <td>82.1</td> <td>13.4</td> <td>4.5</td> <td>79.3</td> <td>12.5</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>91.1</td> <td>8.0</td> <td>1.0</td> <td>89.3</td> <td>8.0</td> <td>2.7</td> <td>91.1</td> <td>8.8</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (評価E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (評価E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (評価E)	教職員	75.3	15.2	9.5	83.3	13.9	3.8	85.5	8.0	6.5	生徒	89.4	5.8	5.8	82.1	13.4	4.5	79.3	12.5	8.2	保護者	91.1	8.0	1.0	89.3	8.0	2.7	91.1	8.8	0.1	<p>【全校】教職員の肯定的評価は今年と昨年、過去の平均から減って75%となりました。保護者の肯定的評価は8%増え、90%を超え、教職員より15%高くなりました。</p> <p>【学部ごと】保護者の肯定的評価は幼小学部は昨年と同じ100%、中学部は100%、高等部は91%、専修部は79%とすべての学部で増える結果となりました。</p>
対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (評価E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (評価E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (評価E)																																
教職員	75.3	15.2	9.5	83.3	13.9	3.8	85.5	8.0	6.5																																
生徒	89.4	5.8	5.8	82.1	13.4	4.5	79.3	12.5	8.2																																
保護者	91.1	8.0	1.0	89.3	8.0	2.7	91.1	8.8	0.1																																

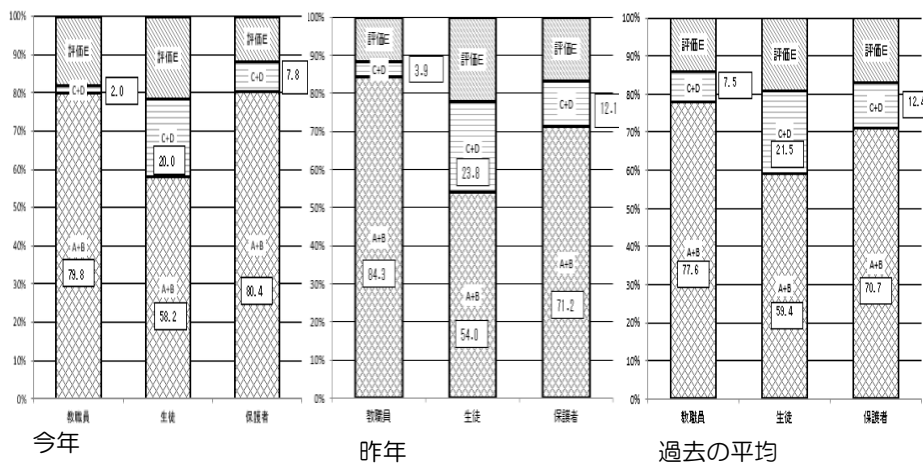
【課題・反省等】この結果に満足することなく、今後とも、すべての保護者に情報が行き渡るよう取組みを進めていきます。

<p><b>3 保護者との連携</b> 保護者の学校行事の参加</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>保護者の学校行事の参加 (学校全体の集計)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>今年 (A+B)</th> <th>今年 (C+D)</th> <th>今年 (評価E)</th> <th>昨年 (A+B)</th> <th>昨年 (C+D)</th> <th>昨年 (評価E)</th> <th>過去の平均 (A+B)</th> <th>過去の平均 (C+D)</th> <th>過去の平均 (評価E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>83.5</td> <td>16.5</td> <td>0.0</td> <td>84.2</td> <td>15.8</td> <td>0.0</td> <td>85.8</td> <td>14.2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>88.0</td> <td>12.0</td> <td>0.0</td> <td>88.0</td> <td>12.0</td> <td>0.0</td> <td>88.0</td> <td>12.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>63.0</td> <td>37.0</td> <td>0.0</td> <td>63.0</td> <td>37.0</td> <td>0.0</td> <td>63.0</td> <td>37.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (評価E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (評価E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (評価E)	教職員	83.5	16.5	0.0	84.2	15.8	0.0	85.8	14.2	0.0	生徒	88.0	12.0	0.0	88.0	12.0	0.0	88.0	12.0	0.0	保護者	63.0	37.0	0.0	63.0	37.0	0.0	63.0	37.0	0.0	<p>【全校】今年は学校行事等に参加したことがある保護者は63%となり、昨年、過去の平均とほぼ同じ水準になりました。</p> <p>【学部ごと】幼小学部は86%、中学部は88%、高等部は100%、専修部は昨年の30%から14%減って16%でした。</p>
対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (評価E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (評価E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (評価E)																																
教職員	83.5	16.5	0.0	84.2	15.8	0.0	85.8	14.2	0.0																																
生徒	88.0	12.0	0.0	88.0	12.0	0.0	88.0	12.0	0.0																																
保護者	63.0	37.0	0.0	63.0	37.0	0.0	63.0	37.0	0.0																																

【課題・反省等】今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式も入学を祝う会となり、運動会も中止となりました。文化祭は学部ごとの発表の場を設けることとしましたが、全体としては保護者のみなさまの来校の機会が減ってしまいました。学校としては感染症対策をしっかりと行ったうえで、開かれた学校づくりを進めていきます。

## 4 進路

### 一人ひとりに応じた進路指導



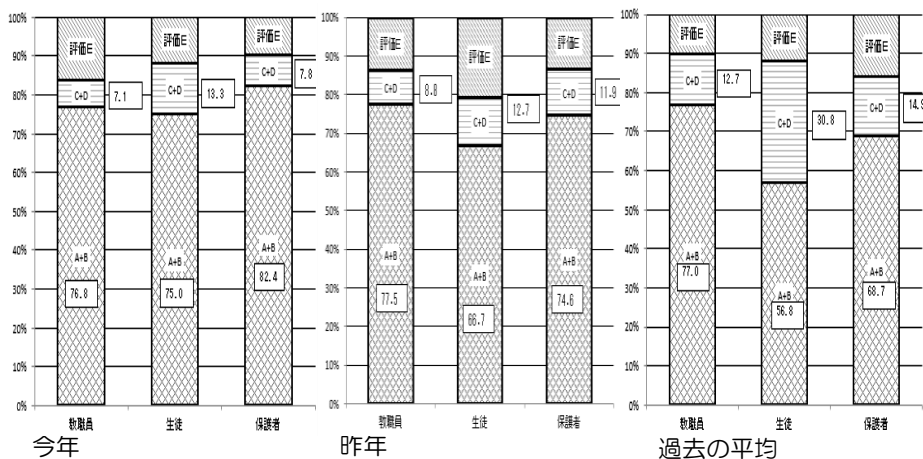
【全校】肯定的評価が教職員は昨年と比べて5%減り、生徒は4%保護者は9%増えました。否定的評価は教職員・生徒・保護者全体において減っています。

【学部ごと】生徒の肯定的評価が昨年と比べて高等部は4%増え91%に、専修部は20%増えて69%になりました。否定的評価は高等部では0%になり、専修部では5%減り29%となっています。

【課題・反省等】肯定的評価が教職員は少し減り、生徒は増えましたが、教職員・保護者と生徒とのギャップが依然としてみられます。専修部については現状を分析するとともに、担任、分掌が連携を密にして情報提供を行うなど、きめ細かな進路指導を行っていきます。

## 5 生徒・学生指導

### 悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無



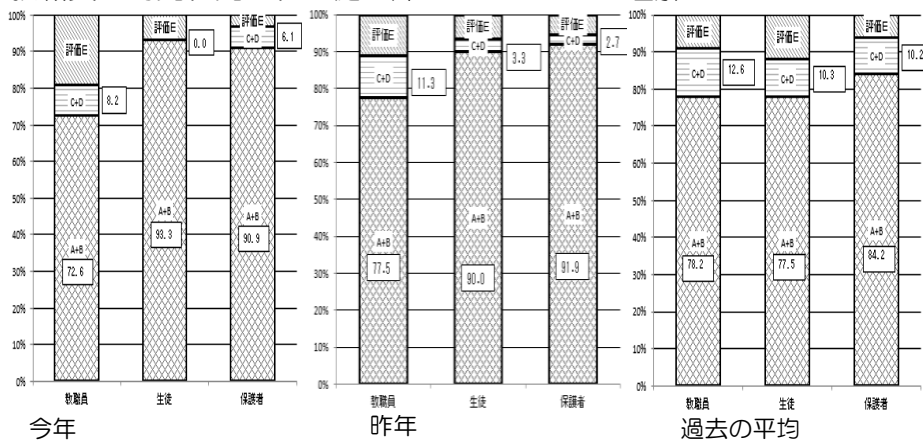
【全校】今年の結果は、昨年と比べて生徒の肯定的評価が高くなり、生徒と教職員とのギャップが少なくなっています。保護者の肯定的評価も昨年に比べて8%増え、80%を超える結果となりました。

【学部ごと】肯定的評価は幼小学部58%、中学部は100%、高等部は80%、専修部は73%となりました。幼小学部はわからないという回答が多く33%あり、どの学部にも一定数のわからないという回答がありました。

【課題・反省等】毎年少しずつ肯定的評価が増えていましたが、今年は昨年より肯定的評価が増えて75%の生徒が相談できる先生がいると答えています。今後も、気軽に生徒が教職員とコミュニケーションをとったり、相談できたりする雰囲気を作るとともに、校内の相談システムの周知徹底にも努めます。

## 6 児童・生徒理解（幼小・中・高）

### 教職員の幼児、児童、生徒の障がいについての理解



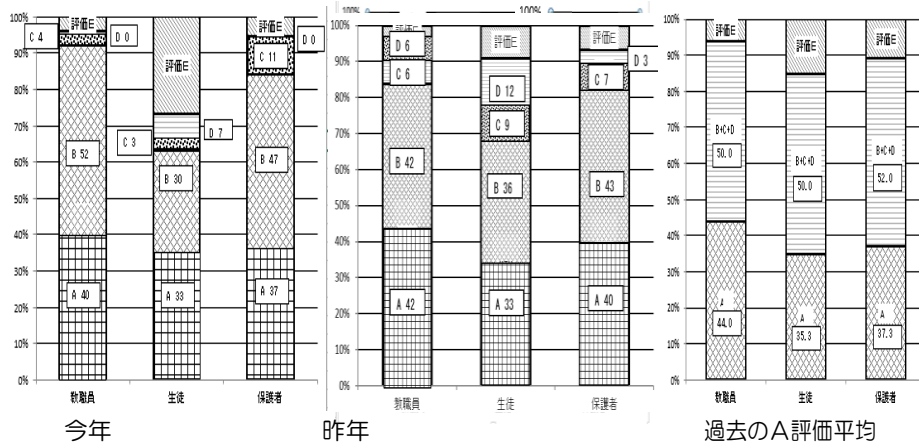
【全校】肯定的評価は、生徒・保護者については昨年とほぼ同じ水準で、それぞれ93%、91%と90%を超える高い評価を受けています。教職員の否定的評価は3%減りました。

【学部ごと】肯定的評価は幼小学部の児童は82%、保護者は100%、中学部の生徒、保護者は100%です。高等部の生徒は、100%で昨年から7%増えました。保護者は昨年とほぼ変わらず73%、否定的評価は11%増えて18%です。

【課題・反省等】生徒、保護者の肯定的評価が過去の平均から見ても、徐々に上がってきていることがわかります。教職員の肯定的評価はほぼ変わらず、否定的評価も減りました。今後も研修会や事例検討会などさまざまな機会を通して、1人ひとりの在校生の障がいの状況について理解を深めていくと同時に、さらに各部の連携を密にして、幼児、児童、生徒、学生の情報の共有化を図っていきます。

## 7 児童・生徒理解（専修部）

学生の障がいについて理解している教職員の割合



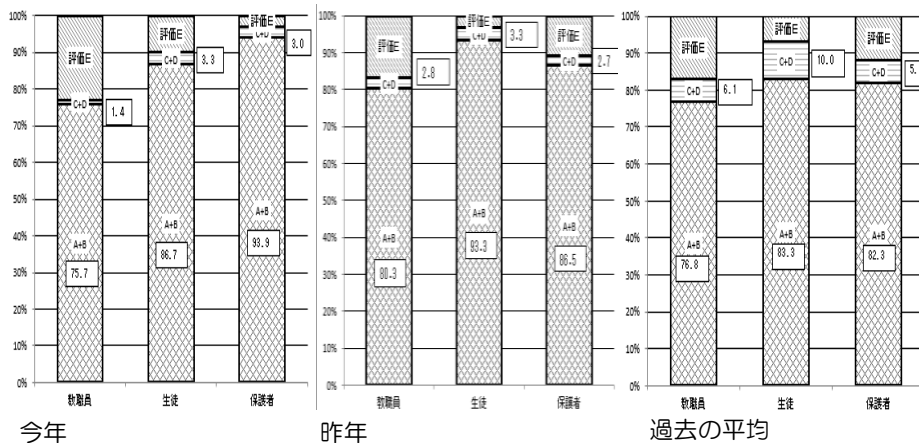
専修部単独で学生の障がいを理解している教職員の割合を聞く質問です。

- A：とても多い（75%以上）
- B：半分以上はいる（50%以上～75%未満）
- C：半分以下である（25%以上～50%未満）
- D：とても少ない（25%未満）
- E：わからない

【課題・反省等】この質問はA評価をいかに増やしていくかが課題となりますが、今年と昨年のA評価を比較すると教職員・保護者は微減、学生は同じ水準です。一方、学生のC評価は6%減の3%ですがD評価が7%あります。今後いっそう、研修会や日々の取組みを通して学生一人ひとりの障がいについて理解を深め、それをそれぞれが実感できるように、情報や支援の方法について共有化を図っていきます。

## 8 授業（幼小・中・高）

わかりやすい授業の実施



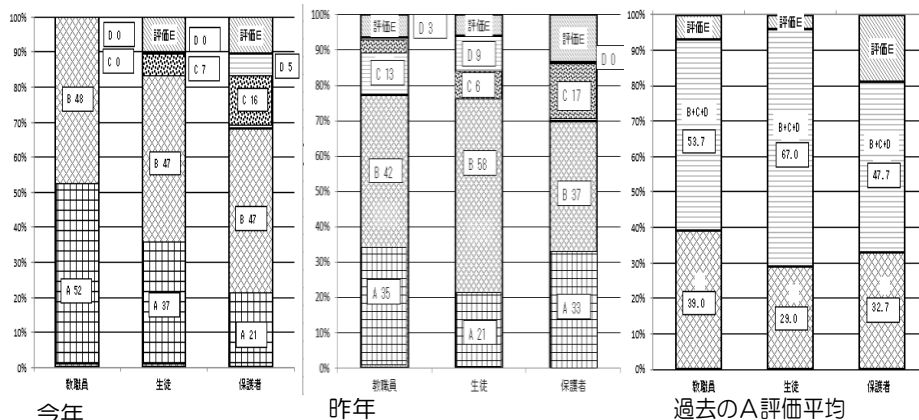
【全校】肯定的評価を昨年と比較すると教職員は4%減って76%、生徒も6%減って87%、保護者は7%増えて94%と、依然として高い評価を受けています。過去の平均と比較して生徒、保護者の肯定的評価が増え、否定的評価が減っています。

【学部ごと】幼小学部、中学部の生徒・保護者の肯定的評価は「わからない」を除けば100%です。高等部の否定的評価は生徒、保護者とも9%です。

【課題・反省等】この結果に満足することなく、今後とも学習会や研修など様々な機会を通して、教職員のスキルアップを図っていきます。

## 9 授業（専修部）

授業内容を工夫し、わかりやすい授業に努めている教職員の割合



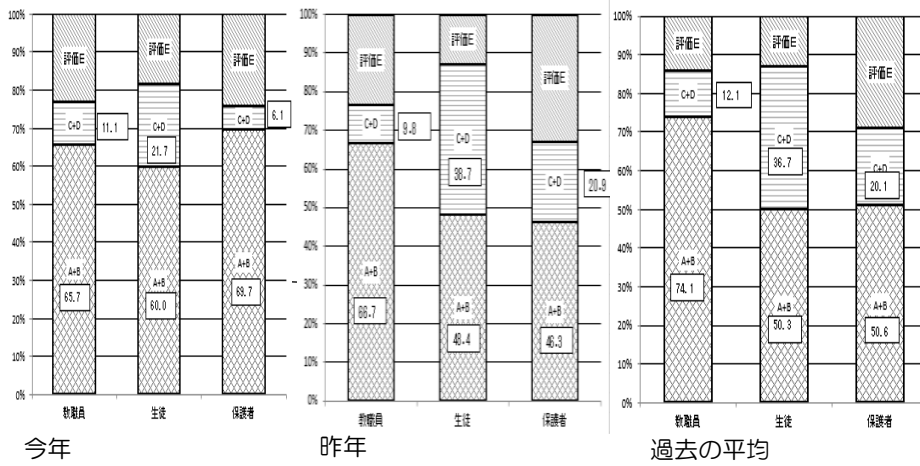
専修部単独で授業内容を工夫し、わかりやすい授業に努めている教職員の割合を聞く質問です。

- A：とても多い（75%以上）
- B：半分以上はいる（50%以上～75%未満）
- C：半分以下である（25%以上～50%未満）
- D：とても少ない（25%未満）
- E：わからない

【課題・反省等】この質問もA評価をいかに増やしていくかが課題となりますが、昨年のA評価を比較すると教職員がC、Dの評価が0%で、A評価が17%増の52%、学生は16%増の37%、保護者は12%減の21%と、教職員と学生では増えましたが、保護者のA評価は減り、教職員と学生・保護者とのギャップがみられます。生徒・保護者のA評価を増やすことが出来るよう今後とも学習会や研修など様々な機会を通して、教職員の授業力向上に努めてまいります。

## 10 授業

### ICTを活用した教育の取り組み



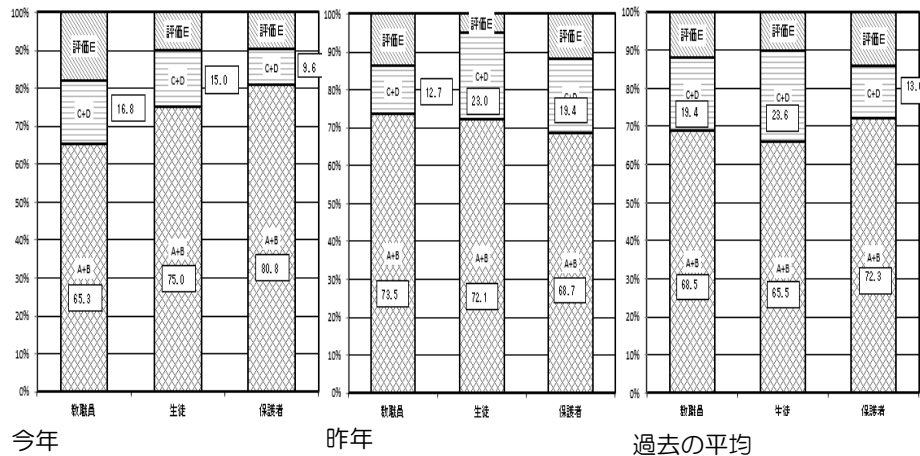
【全校】今年の教職員の評価は昨年とほぼ同じ結果を示していますが、生徒が12%増の60%、保護者が23%増の70%、否定的評価が生徒は13%減の22%、保護者は14%減の6%になりました。

【学部ごと】生徒の評価は幼小学部、中学部で「わからない」を除くと肯定的評価が100%、高等部も100%でした。専修部学生の肯定的評価は37%、否定的評価は43%と、昨年に比べて否定的評価は減りましたが、依然として高くない評価となりました。

【課題・反省等】生徒の実態が異なるので、一概には言えませんが、オンライン授業に備えるためにも、各学部でICT機器を授業に取り入れる取組みを進めています。専修部でも徐々にそうした取組みが行われるようになりましたが、それがまだ定着していないと考えます。教職員の研修や機器の整備を行い、ICT機器を視覚障がい教育に活用できるようにしていきます。

## 11 人権

### 幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進



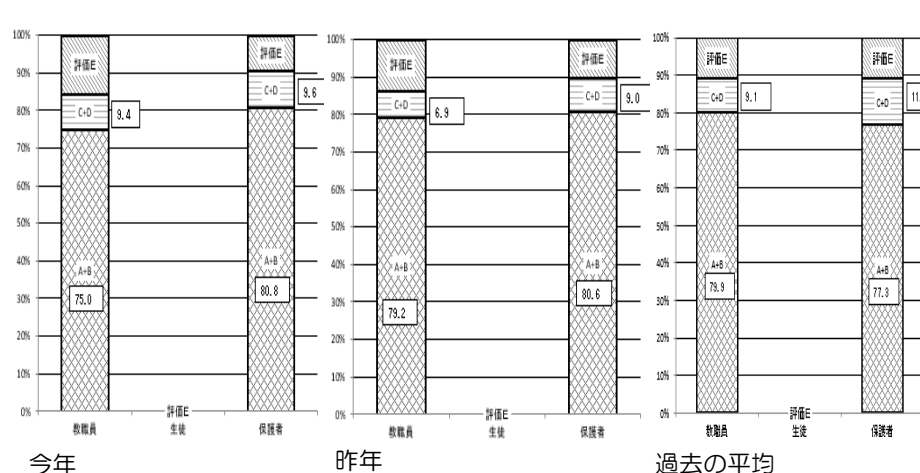
【全校】昨年と比較すると肯定的評価は教職員が8%減、生徒は3%増、保護者は12%増でした。否定的評価は教職員が4%増、生徒が8%減、保護者が10%減でした。

【学部ごと】昨年と比較すると、専修部学生の肯定的評価が微増で57%となり、否定的評価も14%減りました。他学部の否定的評価は幼小学部が9%、中学部・高等部が0%となっており、おおむね肯定的な評価となっています。

【課題・反省等】各部で人権について考える機会を設け、職員についても全校、各部で参加体験型の研修会を行っています。今後ともこうした取組みを充実させていきます。

## 12 人権

### 日常の教育活動における幼児、児童、生徒の人権の尊重



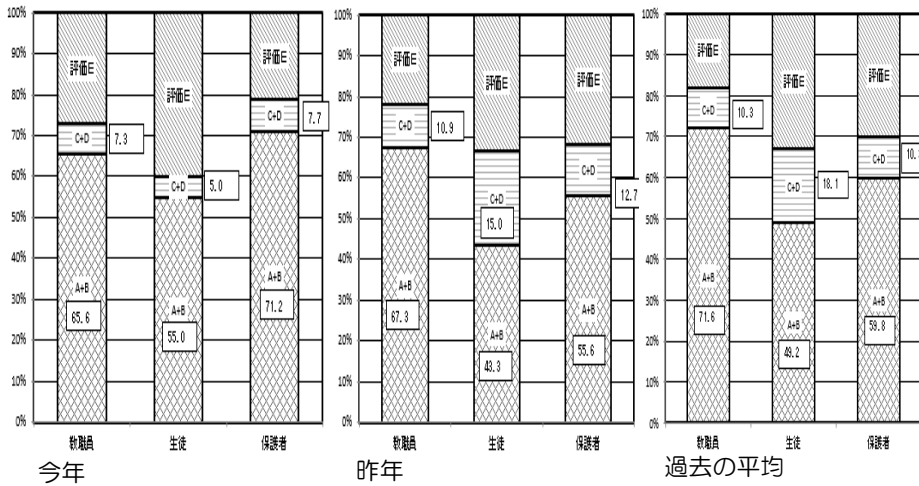
【全校】昨年と比較すると教職員の肯定的評価が4%減り、否定的評価が3%増えました。保護者の肯定的評価、否定的評価は昨年とほぼ変わりませんでした。

【学部ごと】昨年と比較すると、各学部とも保護者の評価は昨年とほぼ同じで、肯定的評価が幼小学部100%、中学部100%、高等部73%、専修部63%で、否定的評価は高等部9%、専修部21%でした。

【課題・反省等】昨年度とほぼ同じで、保護者と教職員との間にギャップはあまり多くみられません。さらに研修を充実させ、安全・安心に配慮された学校づくりをすすめていきます。

### 13 人権

いじめなどの行為に対して適切に対応しているか



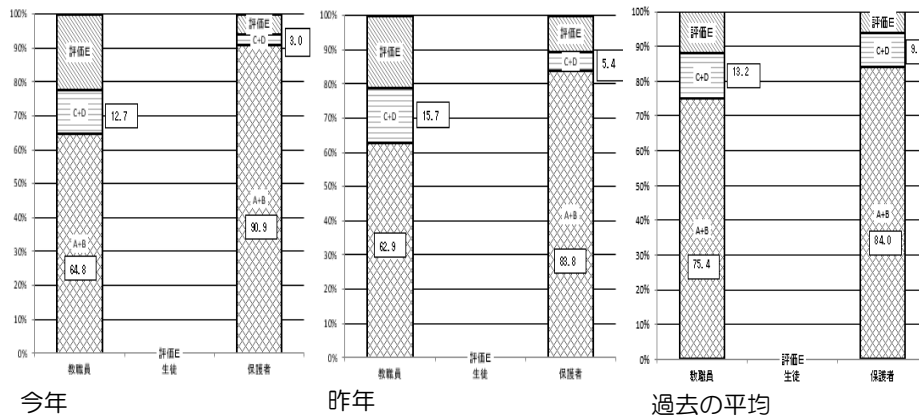
【全校】教職員にはいじめなどの行為があれば適切に対応できているか、生徒、保護者には適切に対応してくれるかを質問しました。生徒、保護者の肯定的評価はそれぞれ55%、71%、否定的評価は5%、8%で、肯定的評価は生徒が12%、保護者が15%増え、否定的評価は生徒が10%、保護者が5%減りました。

【学部ごと】いずれの学部の生徒、保護者も「わからない」が多いです。専修部学生の否定的評価が21%減って10%になりました。その他の学部の生徒の否定的評価は0%となっています。

【課題・反省等】今年は昨年や過去の平均と比べても教職員と生徒、保護者の肯定的評価の差が縮まる結果となりました。今後とも生徒が安心して学校生活を送れるよう、教職員一同取り組んでいきます。

### 14 教育課程

幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成



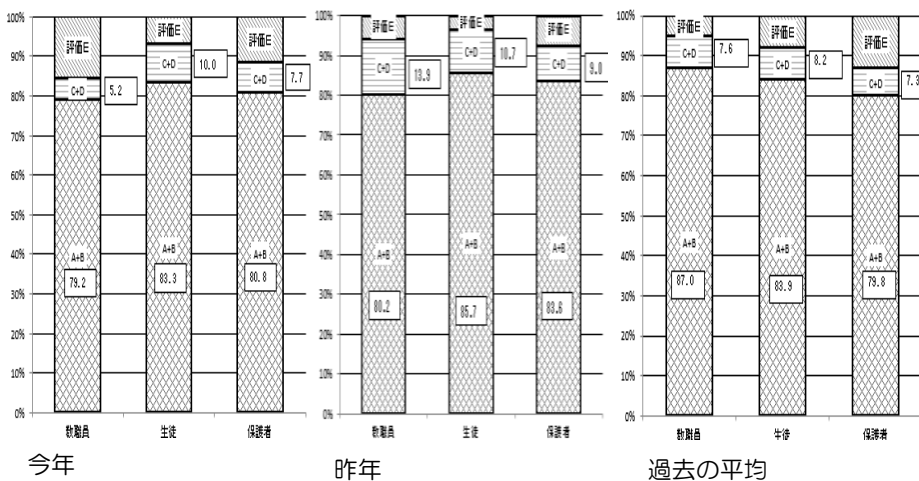
【全校】今年の保護者の肯定的評価は昨年より7%増え、90%を超える高い評価を得ています。教職員の肯定的評価は2%増え、否定的評価は3%減りました。

【学部ごと】否定的評価は幼小学部・中学部の保護者にありませんが、高等部の保護者に9%あります。教職員の否定的評価が幼小学部は40%、中学部は22%、高等部は14%あります。

【課題・反省等】毎年、幼児、児童、生徒の実態が変わる中、各部とも日頃の教育活動について意見を出し合い、できるかぎり、幼児、児童、生徒の一人ひとりの障がいの実態に配慮した教育課程を検討していきます。

### 15 学校安全

地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか



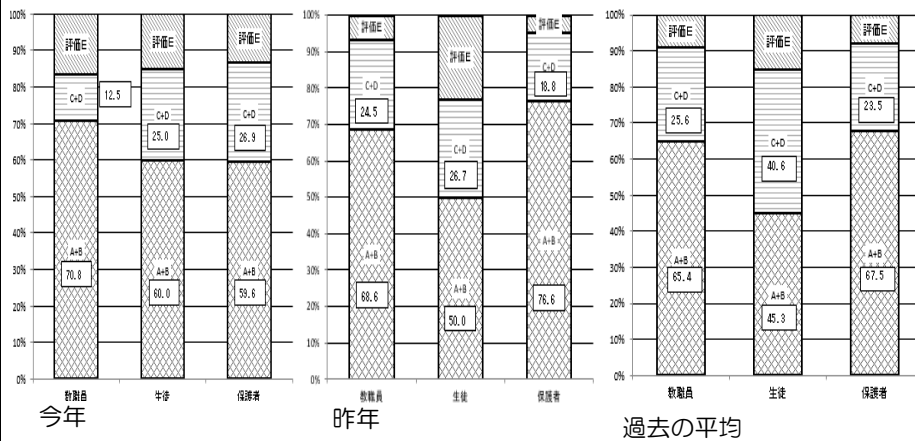
【全校】昨年同様、今年も教職員、生徒、保護者とも肯定的評価は80%近くで、今年は生徒の肯定的評価が83%と三者の中でいちばん高い評価を得ています。

【学部ごと】小学部、中学部、高等部生徒の肯定的評価は100%でしたが、専修部の学生の肯定的評価も昨年の81%から70%に減り、否定的評価は微増で20%でした。

【課題・反省等】学校では定期的に火災、地震、不審者に対する避難訓練を実施しており、またその際、起こり得るさまざまな状況を想定して、実際の緊急事態に対応できるよう工夫を加えて取り組んでいます。個々の訓練を検証し、実際に起きたときに教職員、生徒とも適切な行動がとれるようにしていきます。

## 16 学校安全

通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか



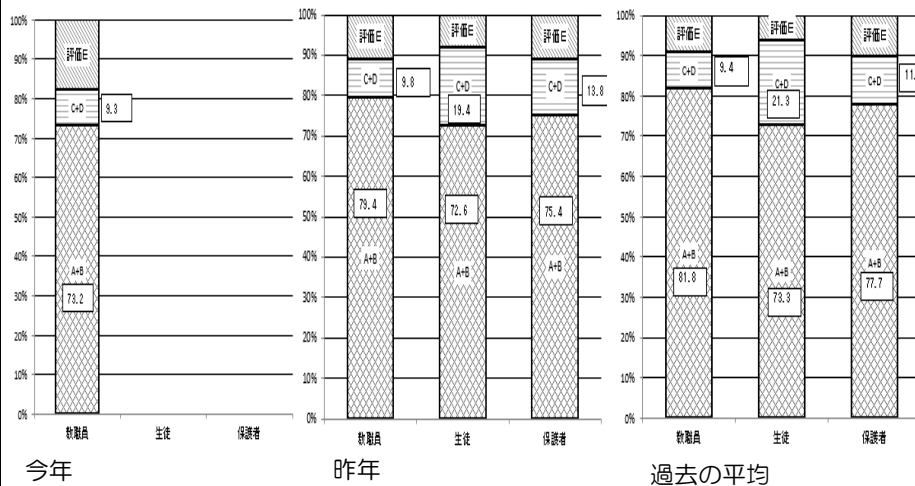
【全校】昨年と比較すると教職員、生徒の肯定的評価はそれぞれ2%、10%増え、保護者は17%減りました。否定的評価も教職員は12%、生徒は2%減り、保護者は8%増えました。

【学部ごと】昨年と比較すると、幼小学部で否定的評価が生徒は25%増で36%、保護者は31%増で43%となっています。他学部の否定的評価は生徒については、中学部が0%、高等部が18%、専修部が30%、保護者については中学部が0%、高等部が9%、専修部が37%となっています。

【課題・反省等】一昨年の学校南のスーパー開店に伴い、正門前を自転車がよく通行しています。そのため、受付員が配置されていない下校時刻を中心に、正門前に警備員を配置しています。マンション建設工事も終わり、今後は、入居された方の車で出入りがマンションの敷地の西側で行われるようになります。今後とも、マンションの管理組合のみならず、大阪府教育庁支援教育課、大阪市の道路管理局とも密な連携を図り、通学路の安全確保を図って参ります。

## 17 学校行事

スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか  
専修部は学科の行事が有意義かどうか



【全校】今年度は生徒・保護者については、例年どおりの行事（入学式・運動会・文化祭など）をおこなえなかったため、自由筆記のみの回答としました。教職員への質問は生徒にとって楽しい有意義な行事をおこなっているかをききました。

教職員の肯定的評価が6%減り、73%となりました。「わからない」という回答も増えました。

【学部ごと】教職員の肯定的評価は幼小学部100%、中学部89%、高等部86%、専修部72%、否定的評価は幼小学部0%、中学部0%、高等部9%、専修部24%となりました。

【課題・反省等】スポーツフェスティバルや文化祭をはじめとする学校行事を見直す取組みも始まりました。幼児児童生徒がそれぞれの発達段階に応じて主体的で、充実感を持てる行事をどのように企画、運営するかを考えていくことが必要であると思います。専修部についても、学生の意見、感想を各学科の行事や自主的に参加しているスポーツフェスティバルや文化祭の企画、運営に活かしていきます。

## 4 おわりに

今回の学校教育自己診断で明らかになった個々の課題については、次年度以降も各学部、各分掌で改善に向けた取組みを続けてまいります。